

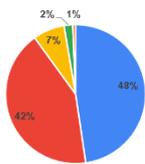
令和4年度 学校自己評価アンケートのまとめ

千曲市立更級小学校

平素より本校の教育にご理解とご協力いただきまして、ありがとうございます。
 本年度実施した学校自己評価アンケートのまとめをいたしました。本年度の成果と課題を明確にし、来年度の指導につなげてまいりたいと考えております。
 ご覧いただき、一層のご支援をよろしくお願いいたします。

1 あいさつについて

先生や友だち、地域の人たちに挨拶をしている 児童



保護者（挨拶）

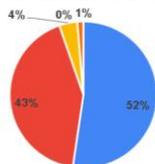


- 1. そう思う
- 2. だいたいそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. 分からない

あいさつは、コミュニケーションの基本であり、相手の存在を認識し、尊重する意識にもつながります。児童・保護者の多くが挨拶していると回答していますが、学校では引き続きあいさつの大切さや、あいさつの仕方について指導を進め、校内だけでなく地域でもあいさつができる子どもを育てていきます。ご家庭でもお子さんとあいさつの大切さについてお話いただき、更にあいさつの輪を広げていきたいです。

2 学習の取り組みについて

学習したことが分かっている 児童

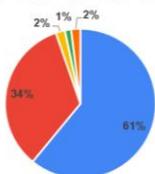


保護者（学習）

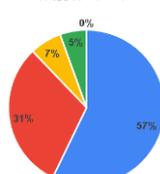


児童・保護者の約90%以上が「学習したことが分かっている」と回答しています。授業は授業のユニバーサルデザイン化を基本として、今年度もICTを活用した学習活動の充実を図ってきました。また、児童・保護者の90%近くが、「パソコンを使った学習に進んで取り組んでいる」と回答しています。児童の学習意欲を高め、学習内容の定着をはかるために今後もICTを活用した学習活動の充実をしていきます。また今後も、全国学力・学習状況調査やNRT、単元テストなどの結果の分析、日頃の授業の姿から、「読む、書く、話す、聞く」などの学習活動に効果的に取り組めるよう工夫し、児童の基礎的・基本的な内容が確実に身につくように、児童一人一人の実態をつかみ、進度を工夫し、授業改善に取り組んでいきます。

パソコンを使った学習に進んで取り組んでいる 児童



保護者（PC）

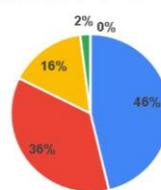


- 1. そう思う
- 2. だいたいそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. 分からない

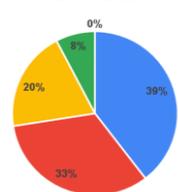
3 読書について

	貸出総数	一人当たりの冊数
令和4年度	51,654	323
令和3年度	52,310	325
令和2年度	43,211	271

家で読書をしている 児童



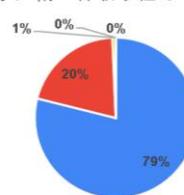
保護者（読書）



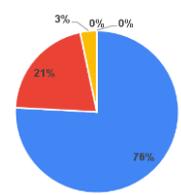
本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から図書館を利用する時間を学年ごとに分散して限定しましたが、子どもたちが多くの本に親しむことができました。一方で、「進んで家で読書をしていると思わない」と回答している保護者の方が30%近くいます。学校では毎日図書館へ行く時間を設け、図書袋を毎日持ち帰ることを促し、家庭学習に読書を取り入れたり、毎月の親子読書デイを設けたりして、家庭での読書を勧めてきました。今後もご家庭で読書をする時間を設けていただき、親子読書にご協力いただくようお願いいたします。

4 学校行事、作品の取り組みについて

学校行事に精一杯取り組んでいる 児童

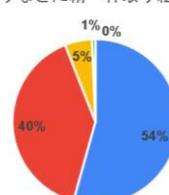


保護者（行事）

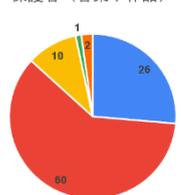


児童・保護者の97%以上が「学校行事に精いっぱい取り組んでいる」、児童・保護者の86%以上が「音楽や作品づくりなどに精いっぱい取り組んでいる」と回答しています。学校では児童が表現したり達成感を感じたりできる機会を大切にしてきました。本年度は昨年より保護者の皆様に児童の作品を見ていただく機会を少し多く設けることができました。今後も児童が様々な表現の場や方法で自分を表現できるように指導を継続していきます。

音楽や作品作りなどに精一杯取り組んでいる 児童



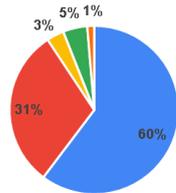
保護者（音楽や作品）



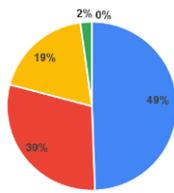
- 1. そう思う
- 2. だいたいそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. 分からない

5 運動の取り組みについて

運動に進んで取り組んでいる 児童



保護者（運動）

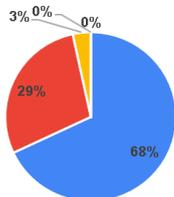


■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない
■ そう思わない ■ 分からない

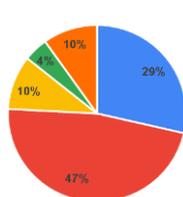
児童・保護者の80%近くが「運動に進んで取り組んでいる」と回答しています。本年度も朝の3分間マラソンや縄跳びの時間を設け、カードに自分の記録を積み重ねていくことで、進んで運動に取り組む姿が見られました。また、竹馬と一輪車を活用しながら運動に親むことができました。

6 地域との関わりについて

更級地域のことについて学習している 児童



保護者（地域）



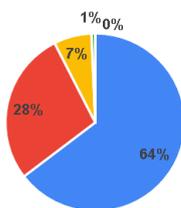
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない
■ そう思わない ■ 分からない

児童・保護者の76%以上が「地域のことを学習している」と回答しています。本年度は縄文まつりを行うことができ、地域の方にご協力いただきながら縄文服作りや縄文太鼓、更級地域の学習などを通して、児童は地域について学習することができました。本校の児童は、安全パトロールの皆さんをはじめ地域の多くの皆様に支えられています。今後も学校では「ふるさと更級」に関わる学習を取り入れ、生まれ育った故郷に対する理解を深め、愛する心を育てよう努めています。

今後も、地域の皆様の目で児童を見守り、育てていただきますようお願いいたします。

7 人権意識について

学校に楽しく通っている 児童



保護者（学校）

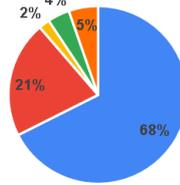


■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない
■ そう思わない ■ 分からない

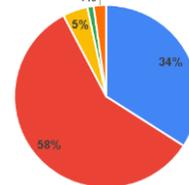
児童・保護者の92%以上が「学校に楽しく通っている」、「人の嫌がることはしていない」と回答しています。一方、「学校へ楽しく来られていない」「人の嫌がることをしてしまった」と回答している児童も少数います。

児童が安心して生活できる学校は、児童の人間関係の安定や学力の向上にも関わります。楽しく登校できていないと感じる少数の児童の思いを大切にき取り、すべての児童にとって居場所のある学校づくりに、さらに努めてまいります。今後も感染拡大予防に努めながら、たてわり活動などの異学年交流の機会を大切にしていきます。

人の嫌がることをしていない 児童



保護者（友だち）



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない
■ そう思わない ■ 分からない

8 保護者の皆様からのご意見より

- 学年問わず仲良く遊んでいる姿が見られ、とても良いと思う。
- 異学年との交流が多くある所が魅力に思う
- 子供世界には子供にしかわからない、大人には気付けないような繊細な悩みがあるということを理解しなければいけないと思う。会話の中に隠れている SOS を見逃さないように関係を築いていかないといけないと思います。
- 音楽会の時の5～6年生の換気への対応が何だかとても感動しました。
- 行事の時間が午前中で済むのはありがたいです。縄文祭りも午前のみ、こどもたちと保護者の関わりも最小限だと負担が少なく、長く続けられそう。運営側が高齢、もしくは小学生しかいない、中間の世代がないので、負担を軽くすれば長く引き継いでいかれるのではないだろうか。
- 感染対策をとりながら、行事を行っていただき、ありがとうございます。
- 組体操を成功するまで根気よく練習する姿、音楽会に向けて頑張る練習する姿が家でもありました。行事が中止になれば、見られない姿だと思います。子供自身にも、達成感と自信が持てたと感じます。ありがとうございました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見を大切に受け止め、職員で共有し、指導すべき内容については適切に指導しながら、今後に生かして参ります。これからも児童が来たいと思える学校づくりを目指し、また学力を高め、健やかに成長し、ふるさと更級を一層愛する児童を育てるために、指導を重ねて参ります。今後も、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。